

## 「こまつ元気アップ商品券」発行で地域経済に活性化を

4月から給付が始まった定額給付金の振込時期に合わせ、給付金が預金口座に眠ってしまうことを少しでも回避し、昨年秋以降急激に悪化した経済情勢と依然長期化する消費低迷下、消費者の皆様



三日市商店街での商品券販売所の様子。販売開始時刻前から消費者の列が出来ました。

への生活応援と地域での消費拡大による地域経済・景気回復へのきっかけとなり、商業・サービス業だけでなく製造業や建築業等においても厳しい経済環境下、小松に少しでも元気が出るよう小松商店会連盟と小松商工会議所ではプレミアム付きの「こまつ元気アップ商品券」発行事業を企画し、4月17日(金)～19日(日)の3日間で販売を行った。

今回のこまつ元気アップ事業の特徴は、発行総額2億2千万円分の内、半分は大型店(売場面積1万㎡以上)でも中小小売店でも使用可能の共通券、半分は中小小売店等では使えない専用券の2種類(500円券を各11枚づつの計22枚)をセットとした販売で、使用期限は8月31日まで。消費者の皆様には1割のプレミアムと商品券1セット毎の表紙に付いている番号による抽選で、大型液晶テレビ(2台)、ドラム式洗濯乾燥機(1台)他、総額160万円相当の景品

を更にプレゼント。また、商品券は(4/17～19日)市内4カ所で販売し、中でも商店街の販売所ではその場でガラポン抽選により商店街または商店街内のお店で使える商品券や賞品(商品)が当たる抽選を実施し、3日間とも大変好評で各日の販売予定数があっという間に売り切れの状況で、お一人一回10万円の購入限度額制限を設けたものの、ご購入出来なかった市民の皆様には大変恐縮な結果となり、お詫び申し上げます。

今回は定額給付金給付という政策に合わせ、同施策が経済活性化に効果を発揮するようとの狙いでありましたが、地域の商店街や中小事業者の皆様には活性化の効果が現れ、地域が元気になり、商店街や街なか賑わう企画・事業をこれからも、商店会連盟や商工団体、商工会議所が連携しながら実施して行きたいと強く感じています。



販売初日、市役所内販売所の様子。販売開始1時間半前から並ぶ人もあり、あっという間に完売。



液晶テレビ等当たる“お楽しみ抽選会”の様子。1等賞の抽選番号を引く、こまつ夢案内人の3名と富岡商店会連盟会長、西商工会議所副会頭。[写真右より]

お買物は私たちのまち小松市で!

### こまつ 元気アップ 商品券 取扱店

当店では弁慶共通券・富樫専用券のどちらの商品券もご利用いただけます。



有効期限 平成21年4月17日(金)～8月31日(月)  
発行元/こまつ元気アップ事業実行委員会 主催/小松商工会議所・小松商店会連盟 後援/小松市

開催日 平成21年4月17日(金)・18日(土)・19日(日)  
開催時間 10:00～15:00(各日共に売り切れ次第終了)  
開催場所 中心商店街(タウンオアシス)・粟津地区(粟津駅前JA小松市粟津支店) 小松大和・平和堂・小松市役所(小松市役所は17日(金)のみ販売となります)

お買物は私たちのまち小松市で!

### こまつ 元気アップ 商品券 取扱店

当店では弁慶共通券のみご利用いただけます。



有効期限 平成21年4月17日(金)～8月31日(月)  
発行元/こまつ元気アップ事業実行委員会 主催/小松商工会議所・小松商店会連盟 後援/小松市

開催日 平成21年4月17日(金)・18日(土)・19日(日)  
開催時間 10:00～15:00(各日共に売り切れ次第終了)  
開催場所 中心商店街(タウンオアシス)・粟津地区(粟津駅前JA小松市粟津支店) 小松大和・平和堂・小松市役所(小松市役所は17日(金)のみ販売となります)

# 平成21年度

## 石川県商店街振興組合連合会・石川県商店街連合会通常総会開催

石川県商店街振興組合連合会（県振連）と石川県商店街連合会（県商連）の平成21年度通常総会が去る5月28日（木）、金沢ニューグランドホテルにおいて開催されました。

県振連の通常総会では東川理事長の挨拶の後、東川理事長が議長となり議案審議が進められ平成20年度事業報告・収支決算報告、平成21年度事業計画（案）・収支予算（案）、役員補選について原案通り可決されました。

その後、来賓の石川県商工労働部次長の中村明氏よりご祝辞をいただきました。

また、第2回理事会が開催され副理事長（金沢選出）に片町商店街振興組合の小間井理事長が、専務理事に武蔵商店街振興組合の中島理事長が選任されました。

引き続き県商連の通常総会が開催され、東川会長の挨拶の後、東川会長が議長となり議案審議が進められ平成20年度事業報告・収支決算報告、平成21年度事業計画（案）・収支予算（案）、役員補選について原案通り可決されました。最後に来賓の石川県商工会議所連合会専務理事越島正喜氏よりご祝辞をいただきました。

ここで、前任理事の方々のご苦労に対し心よりお礼申し上げます。新役員の方は以下の通りです。



### 石川県商店街振興組合連合会

新	旧	氏名	振興組合名	氏名	振興組合名
副理事長	小間井隆幸	片町商店街(振)	高橋 徹	尾張町商店街(振)	
専務理事	中島 祥博	武蔵商店街(振)	小間井隆幸	片町商店街(振)	
理事	室谷 幸秀	三日市商店街(振)	角谷 治男	三日市商店街(振)	
理事	鈴木 満	尾張町商店街(振)			
理事	福嶋 満	山代温泉通り商店街(振)	佐内外喜男	山代温泉通り商店街(振)	

### 石川県商店街連合会

新	旧	氏名	商店街連盟(連合会)名	氏名	商店街連盟(連合会)名
理事	山本 隆文	金沢市商店街連盟	高橋 徹	金沢市商店街連盟	
理事			宮保 喜一	金沢市商店街連盟	
理事	千歩 純義	小松商店会連盟	谷口 保	小松商店会連盟	
理事	岡田 豊	加賀市商店会連盟	野手 博司	加賀市商店会連盟	

## 珠洲飯田にまちなか賑わい拠点“飯田わくわく広場”完成 ～燈籠山祭りの舞台～



五月晴れの5月2日（土）珠洲飯田のまちは、朝から人のにぎわいです。今日は、まちなかの人たちが待ちに待った、珠洲・都市ルネッサンス石川・都心軸整備事業として「燈籠山祭り」の舞台とした参道をイメージした春日通り線（飯田側・片側4.5メートルの歩道は、2011年度完成予定）と、

旧森下旅館跡地に足湯をはじめ交流施設や回廊を備えた、人々が行き交う広場“飯田わくわく広場”の完成をお祝いする日です。

パンフレット「珠洲・都市ルネッサンス石川春日通り線」の『燈籠山、漁火、灯台、ランプ、提灯、のど・果実のまち。飯田』には「じんの燈（び）」がある。』に、珠洲いっだのまちなか情緒豊かなさがいっばいに表現されており、ついにつかさがこみ上げてきます。

完成を祝して、知事、市長があいさつ、テープカットに続き、テント市が並ぶ無電柱化の参道を燈籠山が浜に向かって、威勢のいいハッピー姿の若衆の掛け声に合わせ、引かれていきます。ゆったりとられた沿道は、地元の飲食店や洋菓子店など20軒余りのお店が並び、「わくわく広場」には、足湯もあり、知事、市長をはじめ地元の人たちが気持ちよさそうに湯に浸り、会話を楽しんでいます。12時に回廊で「ふるまい大鍋」が振舞われ、身もこころもアツアツ。

3月末、狼煙地区に「狼煙地区農山漁村活性化施設」（愛称「交流施設 狼煙」）が完成しており、珠洲特産品「大浜大豆」による豆腐などの直売をはじめと。双方ともに地域力向上、にぎわい創出に役かこうことに。

商店街では、おめでたい今日の日に合わせて、手づくり鯉のぼりを立て、我が家の五月人形を店頭飾り、お客様をお迎えします。

お客様に商店街・まちなかを回遊し、お店の中に気軽に入ってもらえるよう、商店街8か所「みせどころ」ポスターの掲示されているお店（いろは薬局：橋本まりか氏、いづみや呉服：本谷桂子氏、モードおやま：高富美子氏、サカシタストア：山市美枝子氏、今井商店：浜野泰子氏、川端薬局：山下祥子氏、らごら三和：小西和子氏、なか薬局：高富久子氏）では、女流作家による珠洲焼き個展・販売もおこなわれました。まちなか全域に配置してあるため、知らず知らずのうちにまちなか全域回遊していました。さらに、元気なお店29店がどれでもぜんぶワンコインでお買い物ができる「100円商店街」が県内初でおこなわれました。100円商店街では、どんな商品を出したらよいやら、色々検討された様です。自分のお店で売っている商品を100円で売るパーゲンセールであると、とられる方が大勢いたようですが、結果はどうだったでしょうか。100円ショップを楽しみに商



店街を回ってみました。どのお店も随所に様々に工夫がされており、つついつられ、商店街のお店まわりを楽しんでいる自分に気がついた次第です。

竹ぼうき、CD、糸、各種バッグ、肌着、手づくり石鹸、トイレカバー、和菓子、肉入りコロッケ、玄米コーヒーなどのお店の商品、印刷に使われたカラー折り紙用紙、カラストーン、「当日のお楽しみ」としたショップも何軒もあり、工夫色々です。世界でたった1つの目入りの手づくりアートストーン、目と目がバッチリ合い、思わず気持ちが和みます。ひる過ぎ商店街を回りましたが、大半のお店は、売り切れごめんでした。

この日は、珠洲いっだ恒例の二七の朝市の日です。20軒余り、マラカス、エビス、プリンス、銀泉、ソーメンカボチャ、坊ちゃんかぼちゃなどの苗の販売が主なものです。聞いたことのない品名もあり、ついそこで会話を楽しむことに。ついでに、食し方も教えてもらうなど、おまけつきも楽しむ。

「いっぴく処だんだん」では、朝市の人たちに出す朝食のうどんなどを作るのに大忙しです。昼には、朝市もひけてやれやれホットー息つく間もなく、バス待ちの人、なじみの人たちがお店に入ってきます。お店のインフォメーションには、いまが盛りだくさんの桜井邸、池上邸の「のとキリシマツツジ」の写真展。奥能登、深紅に彩るみごとな古木の数々。それで、またお客様の会話が弾みます。「〇〇はそろそろ」、「あそこは満開」から始まり、「子どもさんはどうしてる?」「お孫さんは?」――会話がどんどん発展していきます。楽しいおひるの時もアツという間に過ぎていきます。

人のこころが通い合う、あったかい大きなコミュニティに感謝と満足でいっぱい。完成のお祝いイベントに合わせて商店街が企画した3点セットの相乗効果も手伝って、まちなかの人たちは、お店に入って、店主にあれこれ聞きながらのお買い物よし、おしゃべりよし、を満喫しています。

5月下旬の朝、「だんだん」で、ワンコインの朝粥講と銘うった朝粥会が復活しました。おかゆのゆげと香りがまちなかいっぱい。そんななか、お粥をすすめる音が響きわたる――むかしなつかしの「朝粥会」が実現しました。

珠洲いっだのまちなかの魅力の深さの一端を垣間見た次第です。次々と魅力いっぱいの企画に取り組み、お世話をしていたいとおかみさんや商店街のみなさん、地域のみなさんたちには、ここから感謝、感謝、感謝です。



# 新生武蔵のパワー・魅力をアピール

## ～「近江町いちば館グランド・オープン」～



金沢武蔵地区一帯が、いちどに花咲く陽気な季節になりました。4月16日、平成19年建設着手した近江町市場の再開発ビル「近江町いちば館」が全館オープンしました。

地上5階、地階1階の黒を基調とした重厚な外観のビルが、ここ、武蔵地区、四つ葉の一角として誕生しました。

地階は、自然食品やパンのお店、ドラッグストアなど13店舗が入る。近代的ビルの中に入ると、建物の新しさにかかわらず、威勢のいい声が飛び交う対面販売の様や迷路のような雰囲気は以前と何も変わっていない。1Fにある鮮魚店、八百屋など50店舗は、近江町市場の一画として溶け込んでいます。市場の通路は、せり出しを解消するなどして拡幅されており、ゆったりとした気分が買物を楽しめます。2Fは、回廊式となった飲食コーナーに10店舗が入っており、1Fの市場の活気が手にとるようにみてとれ、歩いて見て廻るだけでも充分楽しめる工夫がなされています。3階、4階には、市民サービスコーナー、市民交流プラザ（ちびっこ広場、食育広場、まなびい広場）があり、市民の交流拠点として利用できます。

近江町いちば館正面エントランスは、無電柱化で天井が高く広い空間が確保され、いちば館前の路線バス停には、大型液晶モニターも整備されており、「金沢フラットバス」材木ルート乗降場となるなど、利便性が一層向上しました。

何はともあれ、目玉は何といっても、昨年の12月7日スタートした「近江町市場日曜営業」と、「近江町市場」-「武蔵（めいてつエムザ）」-「横安江町（グランドパレス武蔵ケ辻）」が地下通路で結ばれたことで、集客に相乗効果が大きい期待できることではないでしょうか。



## ～中心市街地大型店も「食の武蔵」に一役かう～

めいてつ・エムザの地下の食品フロアが13年ぶりに改装一新され、「エムザ食品館」がオープンしました。「デバ地下需要の取り込みと内食志向への対応」を積極的に図るため、生鮮食品などでは、個食サイズの販売、洋菓子の京都北山店や地元洋菓子店が毎週自慢のスイーツをショッピングするなど食の充実を図っています。

北陸のすぐれた名品・逸品・こだわり食品を一堂に集めた食のセレクトショップ「ほくりくキッチン」も開設し、地産地消、安全安心な食品を提供し「食の武蔵」のイメージアップに寄与することになりました。

当日は、「近江町いちば館」の波及効果も手伝って地域の買い物客で押すな押すなの人たちでごったがえしていました。

めいてつ・エムザの地下通路は、向かいの「グランドパレス武蔵ケ辻」ともつながりました。先ごろ、1Fに和装店オープン。手作りコーナー、出展コーナー、きものバンク、小物の販売コーナーなど手軽にお客様に入ってもらえる店づくりを目指しているとか。



## ～武蔵地区一帯が「食」のおまつり広場に変身～

当日は、「近江町いちば館」オープンを記念した「春のむさしまつり2009」（武蔵活性化協議会など主催）が開催され、食をテーマとした多彩な催しが繰り広げられました。新鮮な食材を生かした「近江町振る舞い大鍋」（近江町の食材をふんだんに使った春の味覚鍋、ぜんざい、レンコン汁、きのこ汁）に長蛇の列。広場では、百貨店や地元人気店がうでを振った「むさし弁当味くらべ」（17種の特別弁当、近江町市場マスコット「ちかちゃん」をあしらった「キャラ弁」も登場）やエビチリ丼、かに丼、ホテルの点心など味自慢の屋台もズラリとならび「食の武蔵」の魅力を存分に発揮。「むさし検定」と名うったクイズラリーでは、家族連れの人たちが、むさしの歴史や文化に関する問題に挑戦しながら周辺商店街を巡りました。ステージでは、三味線、和太鼓などのパフォーマンス飛び出す「まちなかパフォーマンスシアターMapth」、ビートルズライブ、お祭りサルサ、恒例の「むさしサンバカーニバル」がお祭りを華やかに盛り上げ、界限は終日賑わいあふれました。



## ～春の表参道市（横安江町商店街）～

横安江町商店街では、恒例の「春の表参道市」が開催されました。能登地域とまちなかを結び、ふるさとを盛り上げるイベントとして注目されています。「がんばります！輪島！！」と名うって、漆器、地酒など、特産品がずらりと並びます。

能登まいもん広場では、「チャリティ能登かき鍋」が振舞われたほか、かき貝、門前そば、能登牛などまいもんがいっぱい。注目は、能登地区にある珠洲実業高校など4つの高校が商店街の呼びかけに応じ、生徒が考案したオリジナル商品（花つばきから商品開発した、せっけんやろそく、ハーブ茶、イチジクジャム、いしるクッキー、ウコン茶、唐辛子など）が販売されたことです。次世代を担う高校生が地域連携を活かし商店街に活力を呼び込もうという試みは、これからの時代まさに当をえたものです。

会場は、まちなかパフォーマンスシアター「マップス」によるライブなど多彩な催しが繰り広げられるなか、横安江町の門前町にふさわしく何軒もの「骨董市」が出店しており、「輪島塗チャリティオークション」で、掘り出し物を物色し思わぬ逸品を手にしたお客さんも。

今回、プレミアムセールとして「感謝感謝の富くじセール」があり、豪華賞品が当たるとばかり、大勢の人が買いものあと、いちよう館の富くじ板に札を入れて楽しんでいました。

前日は、東別院で「花まつり」があり、「灌仏式」、白象パレード、屋台村、チャリティバザー、クイズ、スタンラリーなどおこなわれており、武蔵地区一帯がおまつり広場と化し、終日人の波が絶えず、にぎわいの相乗効果抜群の日となりました。

（武蔵地区の商店街の取材）



### 横安江町商店街の最近の話

能登地域連携で注目したいのが、能登豚を使った手作りソーセージの販売店。無添加能登塩を使い、能登食材の魅力をアピール。

## 第3回農商工等連携事業計画認定事業の紹介

### 農商工連携フォーラムin富山 ～農林漁業者と商工業者の融合が新ビジネスを生む～

（平成21年2月26日富山市で 中部地域農商工連携協議会など主催）

国において、地方の経済活性化を図るため、農林漁業者と中小企業者が第1次、第2次、第3次という産業構造の壁を超えて連携し、相互の依存するノウハウや技術などを活用し、新商品・新サービスの開発や販路拡大の取り組みを強力に推進しています。

今般、富山において「農商工連携フォーラム」が開催され、会場には300人を超える中小企業経営者などが参加、その関心の高さを物語る。

「知恵を出して産業活性化に取り組み、県としても農商工連携を精一杯に利用したい。逆境のときこそチャレンジしよう」の富山県知事のあいさつに続き、中部経済産業局長から「経済状況は生産調整期にあるが、調整が済んだ経済の回復期に新しいめしの種を探しておかなければならない。新マーケットに新技術でチャレンジを」と話され、その後第3回認定北陸地域の事業計画3件6社、団体に認定書が交付された。

#### 第3回認定事業計画

- 1 北陸の未利用地魚を利用した冷凍すり身およびすり身新商品の開発と製造・販売（富山市）（4-20-027）  
中小企業者：（株）上久（地魚をすり身の原料とするための製品開発を進めていた）

- 農林漁業者：（株）ジェファ（JFいわくグループ）（養殖魚の餌料としてしか利用できなかった未利用地魚の有効利用を検討）  
新商品：北陸地魚かまぼこ等（原料の安定供給）

- 2 清酒の発酵技術を応用したノンアルコール発酵食品の開発及び製造販売する事業（金沢市）（4-20-028）  
中小企業者：（株）福光屋（お米の発酵技術を応用したノンアルコール発酵食品の製造・販売を計画）  
農林漁業者：たじま農業共同組合（酒米「フクノハナ」生産）  
新商品：甘酒の技術をベースに果汁、野菜を加えたドリンク、ゼリー等、離乳食・介護食の高機能食品を新ブランドとして販売。

- 3 中島菜を活用したスイーツの開発・製造・販売（七尾市）（4-20-029）  
中小企業者：（有）みやげ食品（新たに「ペースト状」に加工した製品で用途拡大）  
農林漁業者：能登わかば農業共同組合（中島菜の安定供給・すそ物の利用）  
新商品：ビタミンC豊富・中島菜ぷりん

第1回第2回農商工等連携事業計画認定事業の紹介は、次号に掲載する予定です。

商業を取り巻く環境は非常に厳しく、空き店舗が各地に発生するなどまちなかや商店街の衰退が加速的に進行しております。

こうしたなか、消費者の足をまちなかの商店街へ向かわせ、まちなかに、個店に、にぎわい・活性化を図っていく取り組みが急務な課題となっています。

「新庄100円商店街」を考案、仕掛けた講師によるセミナーを開催。郊外大型店の出店攻勢に衰退の一途をたどる中心商店街へ目を向けさせる事業として全国注目されています。

中心商店街の各個店が100円商品販売を仕掛けることで消費者の足を中心商店街に、まちの賑わいづくりに活かせ、また、商店街に足を運ばせるきっかけづくりとして100円商店街事業をおこない、各個店の意識改革を目指すものです。

**(1) 「100円商店街とは？」を考える前に考えて欲しいことがあります。あなたのまちを「成長」させたいのか、「発展」させたいのか。**

「成長」：数量増 「発展」：変態（本質的なものが変化すること）

日本人は、この「発展」させるといふことには弱いといわれている。この事業はこれら双方備えたものです。「100円で買って!」、「いいよ」と軽い気持ちで買ってもらえるが、「500円、1000円で買って!」では郊外大型店と比べてしまうでしょう。「100円商店街」とは、商店街全体を一軒の100円ショップに見立て、全店頭に100円コーナーを設置するものです。専門店の集合である商店街だからできることです。100円ショップでは陳列不可能なレベルの掘り出し物が軒を連ね、あたかも村まつりの「露天」というイメージです。「ひやかして」——「まだあっちにもあるよ」——「いってみようか」で知らぬ間に商店街・まちなか回遊がすすむ。

**(2) 100円商店街の特徴**

- ① イベントと個店の商売が直結
  - お店に入りたいが、物を買わないとお店には入りにくいという消費者は多い。100円商品を買って気軽に店内に入ることが出来る。100円商品は店頭で、精算は店内というシステムにより、客は気がつかないうちに抵抗なく店内に足を踏み入れ、今まで入ったことのない店内の様子を知ることになる。
  - 一つのイベントの形態として、店内まで客を誘導することが可能となる。福引、抽選会会場の周りだけに人が溢れるが、お店のなかまでは入ってこない。
- ② 高い滞留性と回遊性
  - 全ての参加店そのものが会場となる。商店街のすみずみにまで足を運んでくれる。途中知り合いのひとに会う。どこで買ったのか、の会話をすすむ。ついでに飲食も……。その結果、長時間滞留することになり、さらなる販促効果が期待できる。
- ③ 歩行者天国にしないメリット
  - 歩行者天国だとせつかくの客が道路の中央に集中し個店との間に空間が出来る。ホコ天にしないことにより、客と個店との距離を縮めることができる。
  - 狭い範囲に集客することにより、人混みをつくりだし、集客効果が増幅する。
- ④ R（リサーチ）& D（ディプロマメント）セクションのフル活用
  - お店とお客の両面から調査し、次回へとフィードバックしていく。
  - 効果測定による方向性の確認
- ⑤ 優れた費用対効果
  - 新庄市では、簡単に1万人の人が集まってくる。1回あたり10万円以下（案内チラシ印刷）。補助金は当てにしていない。
- ⑥ 集合体の力＝組織強化へ
  - 新庄市では、90%以上の参加が絶対条件です。
  - その結果、さらに集客力が増加し、全ての店を主催者として機能させることに成功

○これにより、「やってもらう」から「自らやる」へ、意識改革のための土壌づくりとなる。

- ⑦ 自動的に進化する仕掛け
  - R&Dで客、参加店の考えが全て把握できる。
  - さらに不備、不満も把握できる。
  - 低い評価部分の見直し、新たな仕掛けを乗せレベルアップできる。
- ⑧ おまけ
  - みんなで盛り上げ楽しんでやっていると商店街以外からの参加希望者が急増。
  - 100円商品で後日でも商売に結び付けられる。

**(3) データーから**

- ・リピーター率60%以上（第5回来客者アンケート）
- ・100円商品以外の通常商品の売れ行きは、42%が売れたと報告（第1回参加店アンケート）
- ・ぜひきてみたい、97%（第2回来客者アンケート）
- ・100円商店街開催前と後の来客数の変化は、41%客足が戻ってきたと回答（第4回参加店アンケート）

**(4) 「100円玉」が「まほう」であり続けるためには、**

- 100円商品以外の通常商品をいかに売るかを考えること。
- ワークショップの必要性
  - ・グループ単位での勉強会が不可欠です。地元の人であるからこそみえるもの、オリジナルなものをみつけていくことが必要です。

**(5) 新庄100円商店街3か条**

- ① 100円商品は外に陳列すべし。
- ② 外で、お客様と会話すべし。
- ③ 100円商品の精算は店内ですべし。

**(6) 今後の課題**

- 100円商店街とは、意識改革の代名詞です。ちょっと、ちょっとずつ考えていく。それをツールとして、またちょっと考える。——連続。こういったトレーニングです。
- ・在庫処分という概念からの脱却
  - ・そして、さらなる商売へ。
  - ・全国100円商店街事業との連携（アンテナモール）。
  - ・地域間交流による事業の拡大。

**(7) 質疑応答**

- ・他のイベントにあわせ季節ごと（全国的には年4回）にやったらいい。
- ・商品は掘り出しもの、笑ってしまうもの、などいろいろです。客は遊びに、楽しみにしてきてくれる。商店街で遊ぼうよ！！
- ・歩道は狭いのですが、新庄市では1メートルに満たない歩道もあります。通行止めは考えずに、やっています。
- ・PR費用は、1回あたり8万円程度（チラシ印刷費）。
- ・開催曜日は、土曜日が多い。
- ・空き店舗のあるところは、手芸発表会、子どもの展示場として使い商店街が全部つながるようにしたい。
- ・商店街で民家などあって線になっていないところについては、スタンプラリーを併用してやったらいい。
- ・スタンプ会で1000円の買い物で20L 灯油を提供するラリーをしたが、客の入りは少なかった。100円商店街を開催することができるのか。その回遊策は、個店で魅力ある商品を準備できるか、を考えてみてはいかがでしょうか。

**中心市街地活性化基本計画事例紹介**

中心市街地活性化促進シンポジウム（平成21年1月27日東京で開催・中小企業基盤整備機構主催）から、宮崎市（平成19年5月28日認定）の事例を紹介します。

当市は、人口37万人余り、宮崎県中央部に位置し、公共施設や商業オフィスなど様々な都市機能がコンパクトに集積したまちです。平成17年郊外の大規模SC出店を契機として危機感を抱いた7つの商店街と5つの百貨店などの大型店、NPO、商工会議所、行政等多様な主体の連携による「D o まんなかモール」の取り組みをはじめ、毎週日曜日に開催される「早朝ミーティング」が連携の核となっています。

**1 D o まんなかモール委員会の活動**

- D o まんなかキャンペーン 大型店各自でおこなっていたものを一本にまとめて実施。
- ファッションショー
- D o まんなかウェディング
- ウェストサックスカーニバル
- おもてなし事業（コンベンション受け入れ）
- D o まんなか同窓会（20祭 i n みやざき）
- まちかどギャラリー
- D o まんなか大学（販売士取得講座）
- 赤札市（大型店+D o まんなか協同販売）（「黄札市」+「赤幕市」）

**2 その他の取り組み**

- 宮崎山形屋新館増床 本館と一体化し、周辺商店街との回遊促進、にぎわいイベント開催（四季ふれあいモールで地産地消、食育イベント）
- 多彩なソフト事業実施 イルミネーション事業、フラワーロード事業、楠並木コリドール、みやざき国際ストリート音楽祭、駐車場協働システム

**3 宮崎市中心市街地活性化基本計画の概要**

「橋通りを中心とした公園化」の理念の下、人と環境にやさしい交通系づくり

を推進し、にぎわい・まちなか居住環境・就業機会を増進させ、宮崎らしいコンパクトシティの実現を図る。

- ①市民活動・文化活動を通じた多世代交流によるにぎわい創出
- ②個性や魅力にあふれた人が住まい・集うまちづくり
- ③様々な目的の人が満足できる楽しみ憩える商業を核とした空間の形成  
宮崎駅前商店街のリニューアル、駅西口拠点施設の整備など
- ④まちなかの活力を支え人と環境にやさしい交通体系の形成

中心市街地活性化基本計画認定状況について  
（平成20年7月以降22市23件追加認定され、平成21年3月27日現在75市77件となりました。）

北海道	岩見沢市	中部	愛知県名古屋
	富良野市		三重県伊勢市
東北	岩手県遠野市	近畿	滋賀県守山市
	福島県白河市		和歌山県田辺市
	山形県酒田市		兵庫県丹波市
	山形市	中国	鳥取県米子市
関東	栃木県大田原市	四国	愛媛県松山市
	群馬県高崎市	九州	熊本県山鹿市
	山梨県甲府市		
	長野県塩尻市		
	静岡県静岡市（静岡地区）		
	静岡市（清水地区）		
	掛川市		
	新潟県長岡市		
	上越市		